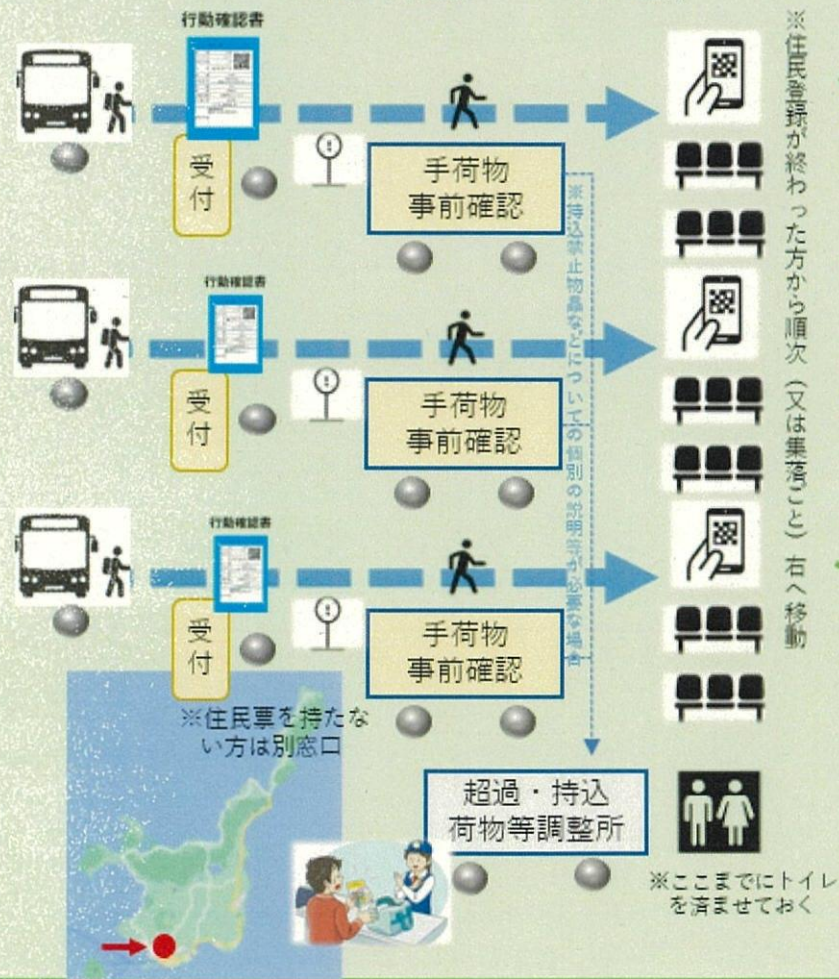


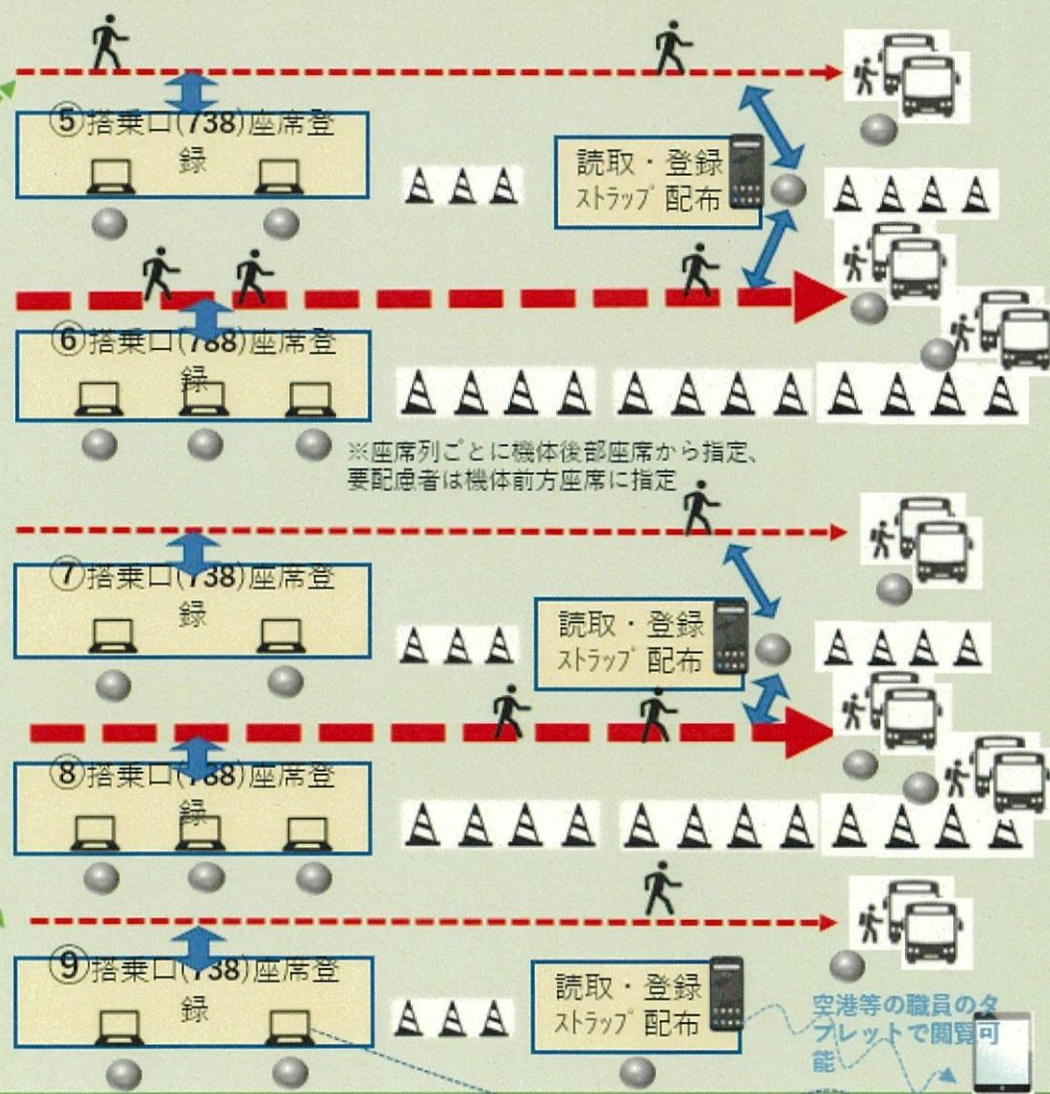
QR住民登録・荷物の事前確認エリア

●：市役所職員（50名超必要か）

※行動確認書（QRコード）を職員が配布
 ※手荷物を事前確認エリアで職員が確認

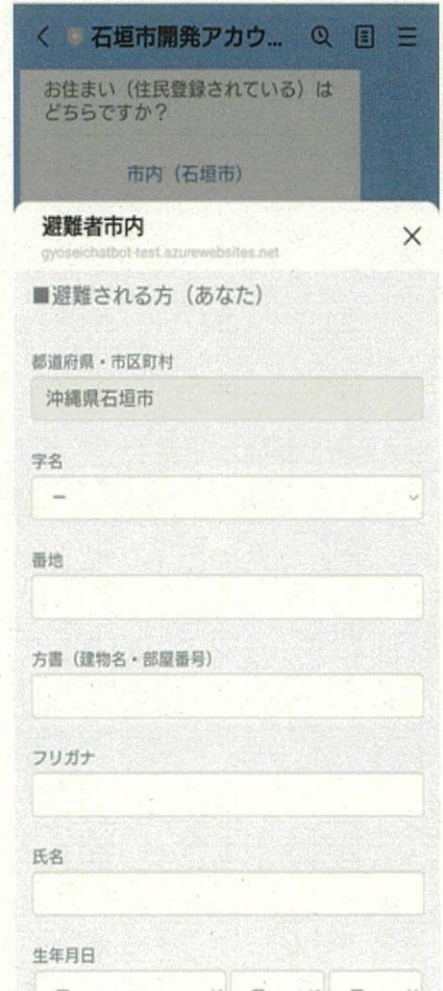
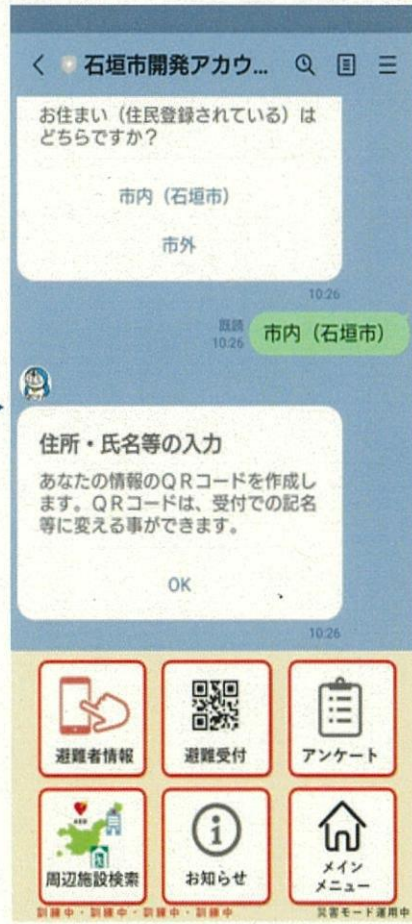
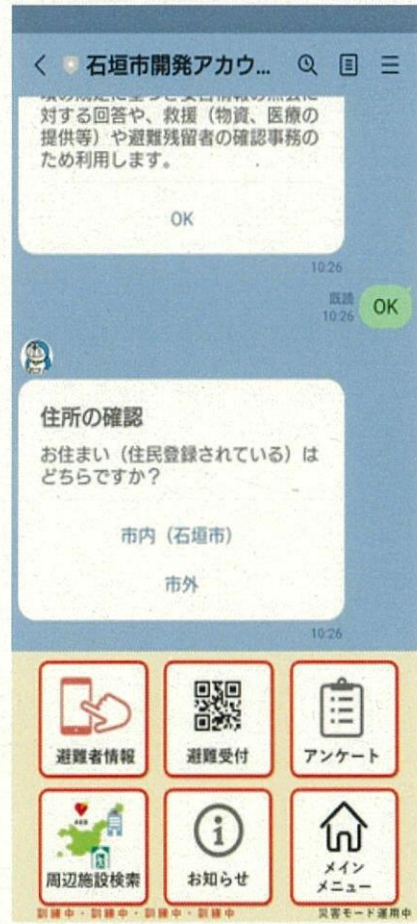
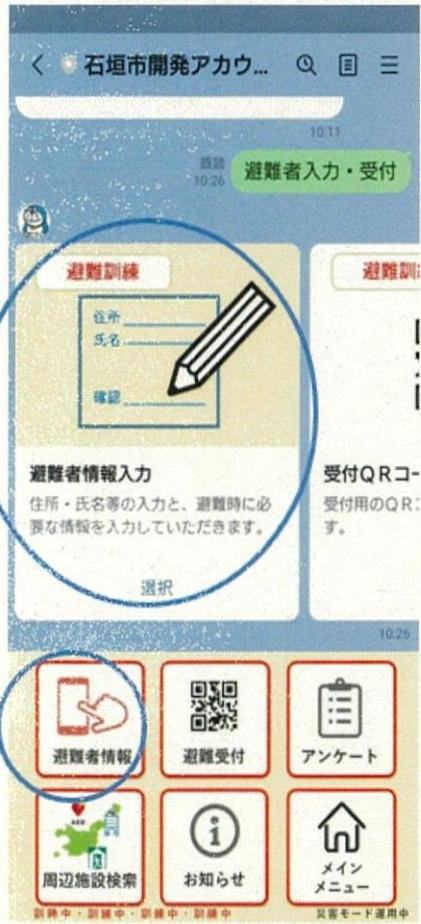


航空機座席登録エリア



※1号40番機目上：コックピット(738)はセット、大型シエント(768)は4セットで準備

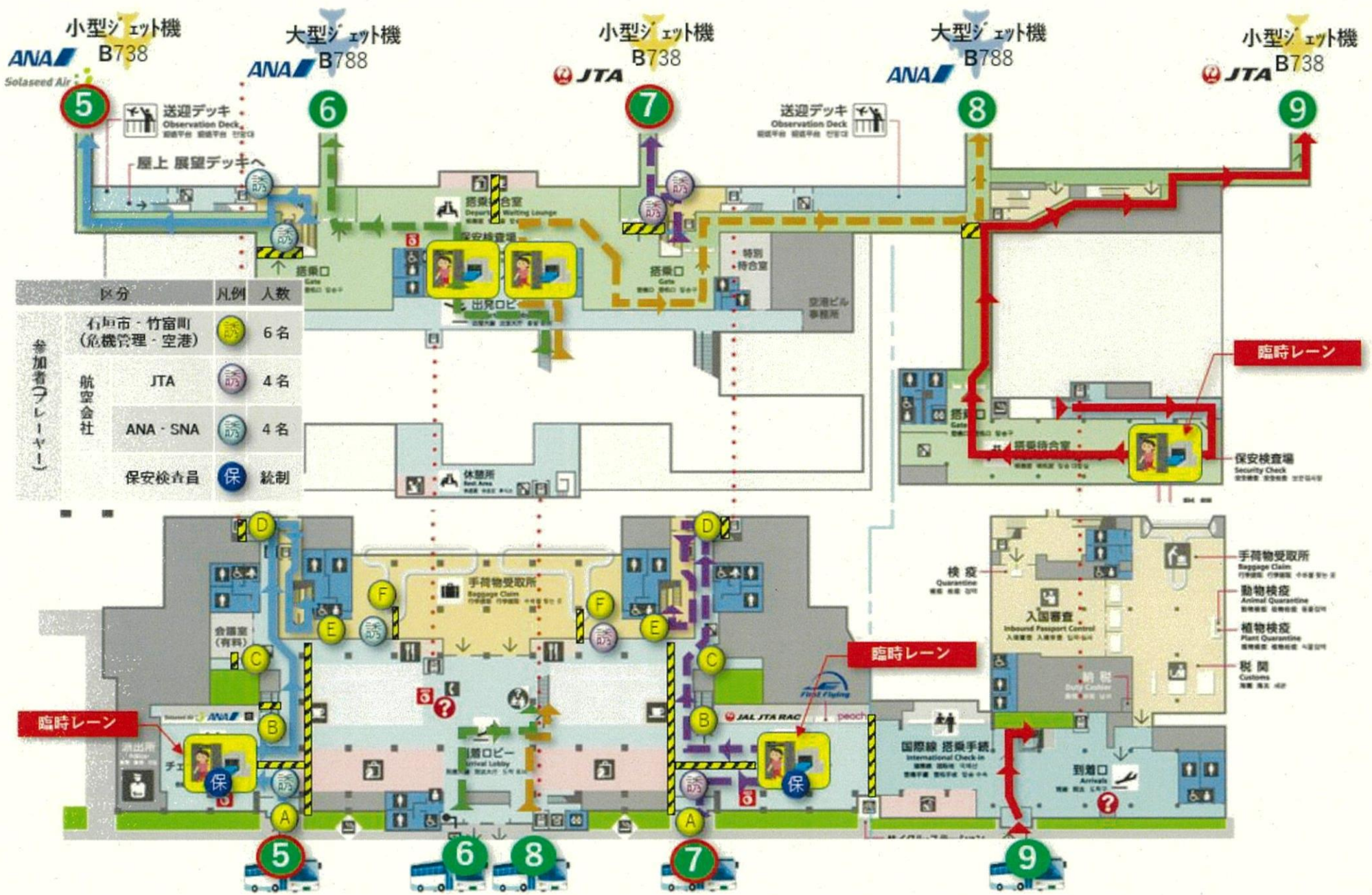
- ▶市の公式SNS（LINE）を活用。事前登録が可能で家族分を一括登録もOK！
- ▶個人にQRコード配布され、住民避難登録センター受付でスキャンのみ。

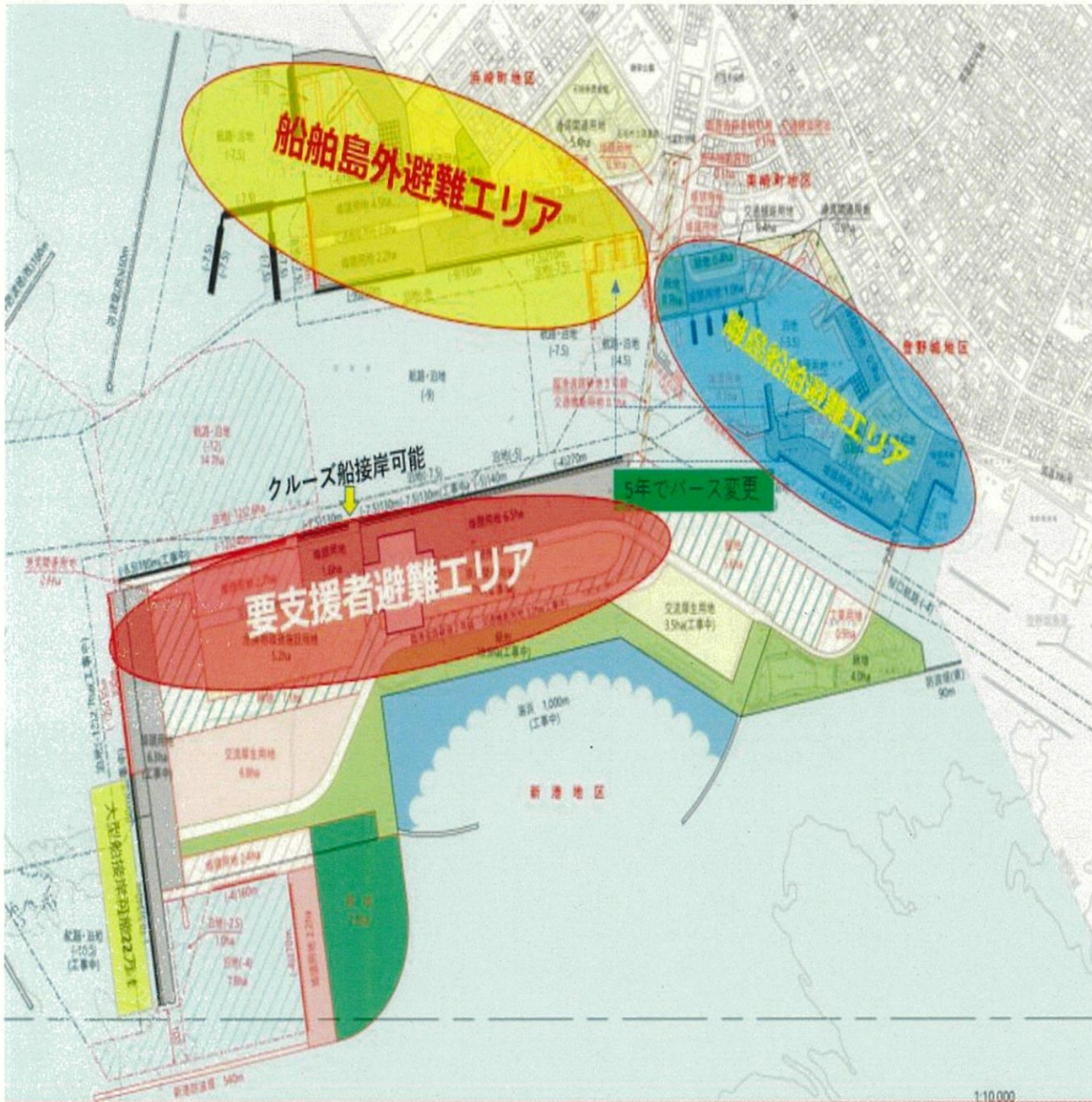


**紙ベース（手書き）での登録は時間・管理が難しい。
自然災害における避難所登録対応を準用**

Step 3
入力フォームに従って情報を入力する

- ・ QRシステムを用いることにより受付での混雑が起こらない
- ・ 手荷物事前検査に時間がかかるので検査員を増やす必要がある
- ・ 超過分の手荷物受託をどこに保管するのか
- ・ 複数名の航空機座席登録が円滑に行えるのか
- ・ 一家族で重複登録があった場合の対応はどうするのか。（夫と妻が家族分を別登録した場合）
- ・ 航空チケットを配布するタイミング
- ・ 航空機の座る位置をカテゴリ分類（例：高齢者、障がい者は前方）すると良い





〈エリア分け〉

・避難エリアを分けることで周辺道路や施設内の混雑回避を目的とする。

〈船舶避難を骨幹とする避難者〉

- ・航空機避難が困難な者
要配慮者とその支援者、その他
- ・ペット同行者

〈輸送力確保と避難誘導の方針〉

- ・担送、護送等避難に時間を要する者やその家族など支援する者
- ・ケージ管理が可能なペット

※畜産（牛、豚等）の避難は、農家との意見交換会後に検討

〈課題〉

- ・ペット頭数制限？/人
- ・受託業務
- ・船舶準備期間
- ・受け入れ可能な避難先確保等

職員配置の方針

- ▶市国民保護対策本部要員+担当課
- ▶国民保護計画に基づく所掌事務の見直し（次年度）
- ▶職員配置における説明と会計年度任用職員、再任用職員活用について今後の検討

〈平時〉石垣市役所職員数

530名（消防職員68名）+会計年度任用職員480名+再任用職員30名=1,040名

〈緊急時〉

市災害対策本部員⇒緊急事態連絡室設置の場合

市長、副市長、教育長、各部長等11名+企画課長、財政課長=16名その他、防災危機管理課職員で対応する。

避難の指示後の島外避難職員誘導者数については、空港避難要領や住民避難登録センターへの職員配置が確定したのちに一時集合場所の人数を含めて算出する予定としている。

《配置案》※空港実地確認後に配置具体化

一時集合場所（10名）+住民避難登録C（60名）+空港誘導（30～40名）+避難先対応（〇〇名）

▶住民避難登録センターにエアライン職員を割けるのか流動的。
通常と運用の仕方が違う中で非常事態が起きた場合などスピーディに対応ができるか検証が必要。（日本トランスオーシャン航空）

▶QRシステムに座席登録する目的

座っている場所が確認できる方が良いし（自治体等意見）、配慮が必要な方の座席を乗降りが容易な前方に割り振ることや非常口座席の割り振りにも利用できる。

避難に係る便数多く、座席制限がある。今後エアラインと検討を進めて行きたい。（内閣官房事態室）

- バス台数は確保できるが、乗務員が不足している。（バス事業所）
- ・新型コロナウイルス感染拡大以降、バス、タクシー乗務員減少
- ・島内の大型免許を有する者の一義的な活用の検討（陸自石垣駐屯地）
- ・大型免許保有者情報の提供⇒沖縄県警へ依頼
- ・避難誘導に関する協力者登録等制の検討など⇒（石垣市）
- ・現在はバス事業者3社で運行状況を共有している。（バス事業所）
- ・IP無線活用も業者ごとにc hが異なるため業者間で使用不可



※「甚大災害時における人的物的緊急輸送に関する覚書」（令和3年7月19日締結）

ANA石垣八重山支店・JTA八重山支社・沖縄ヤマト石垣支店・東運輸・石垣島イーグル観光・かびら観光交通・南ぬ島交通

- 県立病院：病床数302床、稼働可能数260床、実効病床数170（看護師負担考慮）入院患者数170名中、担送患者40%、護送33% 担送患者にDr・Nr付き添い必要。（県立八重山病院医師）
 - ・ 病院（自宅）から船舶（調整中）間の移送方法として救急車（病院救急車含む）の活用が現実的。（石垣防災）
入院患者の移送には、医療資機材が必要。迅速・安全な移送に患者搬送力の高い救急隊のスキルは必須。
- ・ 医療機関での移送順決め及び1患者あたり必要資機材リスト抽出、準備時間等、事前シミュレーション訓練計画と実施（石垣防災）
（次年度以降調整）
- ・ 在宅避難行動要支援者情報の整理（石垣防災）
避難行動要支援者一覧やマップ落とし込み作業
本市消防本部受援計画活用と態勢整備